

平成30年度 第1回郡上市地域公共交通会議(会議要録)

○会議名称 平成30年度第1回郡上市地域公共交通会議

○開催日時 平成30年6月25日(月)午後1時30分～午後3時00分

○開催場所 郡上市役所 4階 大会議室

○協議事項

議題第1号 平成31年度生活交通確保維持改善計画の策定について

議題第2号 郡上市地域公共交通網形成計画事業の実施について

議題第3号 郡上市地域公共交通会議幹事会の構成について

○報告事項

報告第1号 高速名古屋・郡上八幡線の新設について

○出席委員 日置市長(会長)、尾藤安正、平岩憲政、林直樹、田中秀昭、大西春子、畑中知昭、出井建雄、馬淵公子、西脇 洋恵、佐野みゆき、餌取賢一、廣中健太、鈴木隆史、下里武司、宮内菊次、伊豆原浩二、池田喜八郎、古川昭文、佐々木綱行
清水秀樹(代理)、栗山徹子(代理)、熊崎高志(代理) 計23名

○欠席委員 古田米弘、三島貴文 2名

○出席者 (事務局：市長公室企画課)

室長 日置美晴、企画課長 河合保隆、交通対策担当係長 井上裕章、主任主査 酒井義文

1. 開会 (司会進行：企画課長)

2. あいさつ

・日置市長

◆議長(会長：市長) 議事進行

3. 協議事項

議題第1号 平成31年度生活交通確保維持改善計画の策定について

(説明者：企画課 酒井主任主査) 資料1

*質疑応答

委員 下呂市～郡上市間を結ぶシャトルバスは、下呂市から郡上市へ来る人しか利用できないのか。郡上市から下呂市へ行く人で、利用したいとの声があった。

事務局 下呂市～郡上市間の無料シャトルバスは観光課で運行しており、郡上市の宿泊対策事業として実施している。そのため、下呂市(JR下呂駅)から郡上市へ来るお客さんを送迎している。将来的には下呂市側とも協議し、双方で行き来できるバスを検討していく。

委員 美並巡回バスは網形成計画の検討で、運行形態を変えていくとのことであったが、今の段階で、

どのように変えていくのかスケジュール的にわかっていることがあれば教えてほしい。

事務局 美並巡回バスの運行形態等の見直しについては、大きな方針としてスクールバスとの混乗化による見直しを目指している。昨年の網形成計画の策定に伴い、美並町の地域協議会において、公共交通を検討する部会が設置され、地域においても検討が行われている。今の段階で具体的なスケジュールは決まっていないが、教育委員会等の関係機関との調整を進めて、協議が整い次第、運行形態の見直しを行う予定である。

議長 他にご意見が無ければ、原案の通り可決してよろしいか。

全委員 異議なし

議題第2号 郡上市地域公共交通網形成計画事業の実施について

(説明者：企画課 井上交通対策担当係長) 資料2

*質疑応答

委員 八幡町で初めてユニバーサルタクシーを導入されたが、導入後の効果や、お客の評判についてお伺いしたい。

委員 昨年度末よりユニバーサルタクシーを導入し営業を行っている。車椅子でも乗車できるタイプであるが、車椅子の利用は月に2～3回程度で、数えるほどしか実績は無い。お客の中には介護タクシーと間違えて、ベッドから運んでほしいと言われる方がみえる。そういうお客さんには説明して、付き添いが必要な旨を伝えている。原則、自分で車椅子を操作できる人、若しくは補助者がついてという点を周知していきたい。車椅子以外でも乗り降りがしやすいということで、高齢者の通院利用が増えている。黄色の車両にしたことで、一般の方が自分たちも乗れるのかといった声もあったが、現在4カ月の営業であるが利用も増えてきている。

委員 色は意図的に黄色にしたのか。黄色に何か意味があるのか。

委員 ユニバーサルタクシーの色が4種類しか無く、欧米などでイエローキャブが流行っているので、観光客からの利用をターゲットとし黄色とした。

委員 自治会などでタクシー利用をもっと周知していくとよい。その他の地域のタクシー事業者は今後の導入を検討しているのか。

委員 大和については、別の車両を入れてしまったので、今のところは予定が無い。

委員 公共交通の一端を担うタクシーが今後も色々な形で活用されれば良いと考えている。次に、長良川鉄道の貨客混載について、長良川鉄道としての評価はどのようなものか。もし評価がよいのであ

ればもっと拡大して、宅配業者を増やしたり、貨物専用車両を導入したりするなどしてはどうか。

委員 長良川鉄道の貨客混載の実績は、2月から5月までの輸送荷物は352個である。一日当たり5個程度。車両の中に専用のコンテナを設置し配送している。コンテナには空きがあり、他の宅配業者の荷物も運ぼうと思えば運べるが、配送事業者の営業所までの距離や、停車する駅の構造などの制限があり、思うように事業を拡大できない状況である。本来は郡上八幡駅まで運びたいが、ホームの関係で、美並菟安駅までしか配送できていない。美濃白鳥駅まで運べれば、配送の需要も増えるが、長良川鉄道の輸送力が低いため難しい。今後も、長良川鉄道の安定収入を確保していくために宅配業者と協議を重ねていきたい。

委員 貨客混載が儲かるのであれば、車両の改修や、ホームの改修などを行い、拡大して欲しい。

議長 貨客混載は毎日営業しているのか。コンテナはどのようなものか。

委員 基本的には平日のみとしている。土日は観光客などでお客が増えるため。また、コンテナは普通のコンテナを利用しており、特別なものではない。貨客混載の車両の半分を貨客混載用にラッピングしている。

委員 高校生の無料試乗体験などはこれまでも行っているが、ふるさと祭りでのPR活動はどのようなことを予定しているのか。

事務局 各地域で行われているふるさと祭り等のイベントにおいて、公共交通のPRブースを設置して、時刻表の配布など利用促進を図っていきたい。また、可能であれば事業者などから実車をお借りして、乗り方教室などを実施できればと考えている。

委員 高校生に対する無料試乗体験などの他に、高齢者に対する同じような取り組みができるのであれば検討してほしい。すぐにできるというものではないと思うが、高齢者がこれからどんどん増えていくのでお願いしたい。今年から始まった高校生の通学助成制度の実績は分かるのか。

事務局 4月から教育委員会で実施しており、年2回の申請となっている為、9月以降にならないと上半期の実績は出ない。

委員 高校生の通学の補助は非常にありがたく思う。ただ、保護者に対する説明が不十分な点があり、定期券は使い終わったら返却しなければならず、申請の証拠書類のために定期券のコピーをとっておかなければならない。そういった申請方法のマニュアルを作ってもらえるとありがたい。

事務局 申請方法がわかりやすくなるよう教育委員会と調整する。

委員 亀尾島地区のデマンドタクシーのエリア等について詳しく説明してほしい。

事務局 エリアとしては亀尾島と雛成地区を対象としており、利用者からの予約に基づいてタクシー運行するものである。現在アンケート等により、地域のニーズ等を把握している状況である。基本的なルートは亀尾島・雛成地区から八幡市街地の病院、商店を結ぶルートである。

委員 西乙原地区と亀尾島地区の新規路線については、10月からの運行ということであるが、間に合うのか心配である。今の段階ならアンケートだけでなく、地域に入り込んで、住民の方によく説明を行っていくべきではないか。アンケートも十分に説明を行った上で行わないと、意味のないものになる。お年寄りが多い場合は、説明をしてもなかなか理解できないこともある。何でもかんでもアンケートというのはあまり良いことではない。また、デマンドというカタカナは高齢者にとっては非常にわかりにくいし、ハードルが上がってしまう。その点をうまく説明してほしい。そして乗合の仕組みをうまく作ってほしい。デマンドを予約していながら、近くの人にらせてもらい、タクシーが空振りすることがよくあるので、事業者とよくやり取りすることを利用者に説明する必要がある。

事務局 西乙原、亀尾島地区については4～5月に地元に入り、説明を行ってきている。今後は地元のシニアクラブなどで説明を行い進めていきたい。

議長 ご意見が無ければ、原案の通り可決してよろしいか。

全委員 異議なし

議題第3号 郡上市地域公共交通会議幹事会の構成について
(説明者：企画課 井上交通対策担当係長) **資料3**

委員 来年度も幹事会等の開催時期は同じような感じか。

事務局 公共交通会議については基本年4回となるが、幹事会については、今年度は事業評価の方法を検討する必要があるため2回としている。来年以降は1回になる可能性がある。

議長 他にご意見が無ければ、原案の通り可決してよろしいか。

全委員 異議なし

議長 本日の議題は以上となる。

○報告事項 報告第1号 高速名古屋・郡上八幡線の新設について
(説明者：企画課 井上交通対策担当係長) **資料4**

○お知らせ

- ・長良川鉄道(株)より観光列車「ながら号」、「川風号」について説明。

○意見交換

委員 福祉の観点でお話しすると、障害者の就労について、公共交通機関は重要なものである。障がい者が努力して、せつかく就労が決まっても、そこまで行く公共交通機関が無く、ダメになってしまうことも多い。バスなどは、高校生などの通学に合わせている為、先日もダイヤ改正により、今まで行けた職場に行けなくなり、親に送迎してもらっている障がい者がいた。観光、通学以外の観点でも公共交通を見ていただきたい。

事務局 以上で第1回郡上市地域公共交通会議を終了する。

(閉会)